答え 7月4日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



梨の日にちなんで「梨と鳥取県クイズ」

【第1問】7月4日が「梨の日」なのは、なぜでしょう？

① 「な(7)し(4)」の語呂合わせ　② 梨が初めて実った日　③ 梨の花が咲く日

7と4で「なし」と読む語呂合わせです。鳥取県の、二十世紀梨で知られる町の人たちが決めました。梨の季節は、夏の終わりから秋です。

【第2問】鳥取県の名物「二十世紀梨」。最初に見つかったのは何県？

① 鳥取県　② 千葉県　③ 長野県

明治時代、千葉県松戸のごみ捨て場に生えていた苗から見つかりました。のちに鳥取県に伝わって大きく育ち、鳥取の名物になりました。

【第3問】梨の実は、およそ何割が水分でしょう？

① 約5割　② 約7割　③ 約9割

梨の実の約9割は水分です。みずみずしく、夏の終わりののどをうるおします。シャリシャリした歯ざわりは「石細胞（せきさいぼう）」というもののおかげです。

【第4問】鳥取県は、ある数が日本でいちばん少ない県です。何でしょう？

① 人口　② 広さ　③ 雨の量

鳥取県は、人口が日本でいちばん少ない県です。いちばん広さが小さい県は香川県です。鳥取県には、鳥取砂丘や大山（だいせん）などの自然がたくさんあります。

【第5問】鳥取県の境港（さかいみなと）市出身の水木しげるの代表作は？

① 鉄腕アトム　② サザエさん　③ ゲゲゲの鬼太郎

境港市の「水木しげるロード」には、鬼太郎や目玉おやじなど、妖怪のブロンズ像がずらりと並びます。たくさんの人が、像をさがして歩きます。

【第6問】二十世紀梨が、お店にたくさん並ぶ季節はいつでしょう？

① 春　② 夏の終わり～秋　③ 冬

二十世紀梨は、8月の終わりから9月ごろが食べごろです。皮はうすい黄緑色で、さっぱりした甘さとみずみずしさが持ち味です。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます